

Future

つい先日4年生がスタートしたかと思えば、あっという間に4月が終わりました。緊張や不安な表情を見せていた7名の転入生たちも、学校生活に慣れ様々な授業や休み時間のやりとりからだいぶ硬さがとれたように感じています。またどの子も新たに1年生78名を迎えたSOLANの最高学年として、頼もしい姿が見られます。朝はまだまだ肌寒い一方、日中は帽子なしでは外で遊べないくらい暑くなってきたりと、体調管理が難しい時期になっています。次週は初めての宿泊体験もありますので、引き続きサポートいただきますようお願いいたします。

プロジェクト ~1年生を迎える会~の完走

4月28日（木）に20日間準備してきた1年生迎える会の本番を行いました。当日が近づくとつれ、プロジェクトの授業以外にも、朝のMy Timeや休み時間を使って活動の練習や物作りをしたり、家では愛唱歌の練習をしたりと、本番に向けた意識と緊張感を高めながら準備を進めてきました。準備の進め方で、グループ内で揉めることもありましたが、その都度話し合って解決したりふりかえりながら進めることも、今回のプロジェクトで経験できたことです。

前日には活動のリハーサル、そして本番当日には、愛唱歌を作曲いただいた中野さんからいただいたサプライズのビデオメッセージを見て気持ちを高めた後、閉会式と閉会式のリハーサルと愛唱歌の練習を行い、いよいよ本番を迎えました。リハーサルと違い、いざ1/2/3年生を前にするとかなり緊張した様子でしたが、開会式を進め、じゃんけん列車・カードゲーム・自己紹介爆弾ゲームと3つの活動を一生懸命説明しながら自分たちで運営している姿は、とても頼もしく感じました。そしていよいよ閉会式での愛唱歌の初披露。コロナ禍で昨年度は歌唱練習ができない中、4年生になって音楽の授業を中心に練習を重ね、今回全学年の児童と先生、そして理事長ご夫妻の前で元気に楽しそうに披露する姿は、私自身も熱いものが込み上げてきそうになるほど、素晴らしいものでした。本番終了後、残ってくださっていた理事長ご夫妻から子どもたちに「最高学年として素晴らしい会、そしてSOLANの楽しさを感じる愛唱歌を作ってくれてありがとう。感動して涙が出ました」と言葉をいただき、恥ずかしがりながらもとても嬉しそうな表情を見せていました。

本番終了後、そして5/2（月）の授業で子どもたちがまなポートに書いたふりかえりを読んでみると、緊張感の中にも達成感と充実感にあふれ、得るものが多かったプロジェクトであることがよく伝わってきました。まなポートで随時公開していますので、ぜひご覧ください。

5/9（月）からは次のプロジェクトがスタートします。今回の経験を活かし、さらに充実したものにしていきたいと思っております。

（学年主任 荒谷）

元気あふれるピュアな歌声！

瀬戸SOLAN小学校が開校して初めて、体育館に歌声が響きました。1年生を迎える会での4年生の愛唱歌披露は、緊張と自信と元気が混ざった、とても力強いperformanceとなりました。

本番前の音楽の授業はわずか4回！私自身も少しの不安を覚えながら、子どもたちと全力で演奏を作ってきました。しかしその不安は、全く必要のないものでした。録音を配布してから、子どもた

ちは自主的に練習を進めてくれ、「先生、歌詞覚えたよ」「全部歌えるよ！」と笑顔で話してくれる子たちばかりでした。その前向きでひたむきな努力が、本番での透明感溢れる歌声に表れていました。ご家庭での練習のサポート、本当にありがとうございました。保護者の皆様のサポートなしには実現できませんでした。

歌詞を作り、旋律を作り、演奏を完成させたという体験を通して、子どもたちは自分の中にある思いと向き合い、それをいかにして伝えるか、という表現活動の醍醐味を感じることができたのではないのでしょうか。子どもたちの頑張りと成長をととても誇らしく思っています。

これから下級生も愛唱歌の練習を始めます。4年生の皆さんの思いを受け継ぎ、輝く未来に向けて歌の輪が広がっていくことを心から楽しみにしています。

(副担任・音楽担当 谷口)